

1月 食育だより ランチタイム 毎月19日は食育の日 萩市立さくら小学校

今年も安全でおいしい給食を作っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。  
また、寒くて布団から出るのがつらい季節ですが、『早寝・早起き・朝ごはん』で、早く生活リズムを元に戻しましょう。



1月24日～1月30日は「全国学校給食週間」です

学校給食の歴史の巻

学校給食の歴史は、明治22年、山形県鶴岡市の忠愛(ちゅうあい)小学校で、お弁当を持ってこられない児童を対象に、昼食(おにぎり・焼き魚・漬け物)を出したのが始まりです。

その後、第二次世界大戦が激しくなり給食は中止になりました。食べるものが不足していた時に、「ララ(アジア救済団体)」から脱脂粉乳が寄贈され、昭和21(1946)年12月24日から東京、神奈川、千葉で学校給食が再び始まりました。

この日が給食記念日となりました。ただし12月24日が冬休みに入るため、1ヵ月後の1月24日からの1週間は「全国学校給食週間」としました。



鶴岡市のお寺「大督寺」



忠愛小学校は、大督寺の境内にありました。このお寺のお坊さんが、お経をとこなえながら、お米やお金をいただき、弁当を持ってこられない子供たちにお昼ごはんを作っていたそうです。



昭和34年(1959年)に、学校給食70周年記念式典が開催され、記念碑が建立されました。

大督寺敷地内に「学校給食発祥の地」の記念碑

早ね・早おき・朝ごはん

レシピ紹介



野菜たっぷりスープ



- <材料(2人分)>
- ・ウィンナー 6本
  - ・玉ねぎ 1/3(スライス)
  - ・にんじん 1cm(いちょう切り)
  - ・白菜 1~2枚
  - ・マカロニ 10g
  - ・コンソメ 1こ
  - ・塩 小さじ1/2
  - ・こしょう 少々
  - ・しょうゆ 小さじ1

- <作り方>
- ① 水を鍋に入れ、野菜をいれて煮る。
  - ② ウィンナーを加える。
  - ③ 調味料を入れる



おむすび給食



平成7年1月17日、阪神・淡路大震災が発生しました。食べ物もなく、不安のどん底にいた被災者は、ボランティアによる炊き出し《おむすび》に助けられました。この大震災の体験から「ごはんを食べよう国民運動推進協議会」において1月17日を「おむすびの日」と決めました。本校では、17日に「自分で作るおむすび給食」を実施します。食べ物の大切さを考え直すきっかけとなればと思います。

食育標語紹介

朝ごはん 食べると 頭のスイッチ ON  
いただきますで 感謝の気持ち つたえよう  
もりもりと いっぱいたべる 元気な子  
朝ごはん しっかり食べれば 元気100倍  
いただきます 母の愛情 たっぷりご飯  
朝ごはん 食べてやるきの スイッチだ!  
ごはんをね 食べたらもりもり 元気な子  
できました みんな集まれ ごほんだよ  
いただきます 幸せの味 おいしいな  
給食で 午後も全力 がんばろう  
しゃべらずに おいしい食事を もぐもぐと  
ぼくたちの 体をつくるおいしいごはん 残さずきれいに食べようね